

年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地歴公民科 科目 地理総合

教科： 地歴公民科 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ 実教出版 『地理総合』 ）

教科 地歴公民科 の目標：

- 【知識及び技能】 グローバル社会で自立することを目指し、現代社会の諸問題や世界の生活文化の多様性、各地域の歴史的つながり等を理解し、情報を適切に調べまとめる力を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 人間と自然環境との相互依存関係や、歴史的・地域的特色などに着目し、現代社会を生きる自立した主体として多面的・多角的に考察する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、世界の諸地域の多様な歴史や生活文化を尊重しようとすることの大切さに気付く。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して潤養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な生活文化が見られる場所の特色や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し、その解決策を意欲的に考察・構想する姿勢が身に付いている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 様々な生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 特色ある生活文化が見られる場所の特色や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し、その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
2 学期	国際理解と国際協力 第2章 地球環境問題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球環境問題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大まかに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題などの地球環境問題について、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球環境問題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに、その諸課題を国際社会の一員として主体的にたらし、意欲的に解決のあり方を考察・構想する姿勢が身に付いている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球環境問題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が重要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 地球環境問題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球環境問題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとしている。	○	○	○	20	
	定期考査			○	○		1	
3 学期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界 【知識及び技能】 日常生活の中で見られる様々な地域の課題などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用仕方などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の国家間や様々な地域間の結びつきについての課題意識を主体的に持ち、それらの課題解決のために多面的・多角的な考察を意欲的に行いながら追究しようとする姿勢が身に付いている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示した様々な地図の課題などを基に、方位や時差、本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界や地域の諸課題について、地図や地理情報システムを用いて課題を主体的に追究し、多面的・多角的な考察を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	○	○	○	4	
	定期考査			○	○		1	
							合計	67